



JAC北九だより

No.79 (平成29年 第1号)

公益社団法人 日本山岳会 北九州支部

kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発行:公益社団法人 日本山岳会北九州支部
 支部長 関口 興洋
 事務局: 行橋市東泉3-18-10
 竹本 正幸方
 TEL-FAX 自宅 0930-28-9611
 携帯 090-6739-9251
 編集人: 事務局(森 義雄)
 印刷: 山口県山口市水の上町2-25
 内 藤 製 本 所

新年のごあいさつ

準会員制度の導入について

北九州支部長 関口 興洋

新年明けまして、おめでとうございます。

旧年中は支部の様々な活動にご支援、ご協力をいただき、ありがとうございました。

平成29年を迎えるにあたり、年頭のごあいさつを申し上げます。

昨年を振り返りますと、支部が主催した行事の中で、皆さまに特にご協力・ご支援いただいた大きなイベントが三つありました。

- (1) マナスル登頂60周年を記念して企画した風師山での横有恒碑前祭と門司港での登頂記念の映画上映会(5月14日)
- (2) 8月11日が「山の日」として国民の祝日となりました。当支部でも門司区役所、毎日新聞社の後援をいただき、風師山～矢筈山を舞台にした家族登山の実施。
- (3) 「山の日」制定を記念して伊藤前支部長が陣頭指揮された「山の文化展」を門司港レトロの旧門司税関のギャラリーで1週間(8月3日～9日)開催したこと。

今年は昨年の実績を踏まえ、「山の日」の家族登山を地元密着の行事として推進し、行政・メディアのサポートを得ながら、家族が参加しやすい公益事業として育成していきたい。その結果、「山の日」制定の趣旨が広く浸透してゆくことを願っています。

日本山岳会が現在直面している最大の課題は会員の高齢化とともに若い会員の入会が少なく、新陳代謝がうまく行われていない。その結果、会の財務状況が悪化して危険水域に入っている。この危機を乗り越えるため会員増強の方策として、昨年10月から「準会員制度」が導入されました。この新しい制度の概要はつぎのとおりです。

入会資格:

日本山岳会の趣旨に賛同する個人(年齢制限はなし)

準会員の期間: 3年間(期限内に通常会員に移行しない場合は除籍に)

入会金: 5000円(ただし、26歳未満は入会金免除)

年会費: 6000円(初年度は入会月により月割あり)

入会手続き: 会員1人の紹介により会長の承認があれば入会できる。

通常会員との違い: 総会での議決権はない。本部・支部の役員には就任できない。月次会報「山」は配布するが、機関誌「山岳」は有料販売。

特に支部友の皆様に、日本山岳会の有意義な活動内容に接していただき、将来の通常会員へのステップとして加入されることをお勧めいたします。入会希望者はまずは事務局へコンタクトしてください。

本年も北九州支部が楽しいクラブ・ライフの拠点としてルームの活用を図りながら発展してゆけるよう皆様の積極的なサポートをお願いして新年のごあいさつといたします。



坊がつるからの久住山 撮影平成29年正月

12月11日(日)
平成28年支部「忘年の集い」
14852 竹本 正幸



会場にて忘年の集い参加の皆さん

記念山行で足立山から小文字山を歩き、送迎バスで「門司楽の湯」へ、汗を流して宴会場に集合。

午後5時から関門海峡の絶景が広がるレストラン「ラメール雅」で平成28年度の忘年の集いが開催される。池田智彦会員の司会により関口支部長のあいさつ、園川顧問の乾杯の音頭で宴がはじまる。

藤田傳会員、大庭元支部長、伊藤前支部長も参加され、総勢31人は久々に顔を合わせ、楽しく歓談

された。

新入会員の村上正治さん、三宅明子さんのあいさつに続き、百円じゃんけん列車で盛り上がる。昨年に続きじゃんけん強い赤瀬さんが、勝者になり北九州支部に寄付していただいた。さらに1等から6等までの景品ゲットのため、じゃんけんのかげ声もだんだん大きくなる。

会員の方から提出された山の装備等がオークションにかけられ13,700円集まる。宴もたけなわ、時間の立つのも早く、坊がつる讃歌を合唱して最後に池田会員の博多一本締めにてお開きとなる。

出席者：31人

会員：園川陽造、大庭常生、原広美、板倉健一、伊藤久次郎、馬場基介、磯野文雄、高島拓生、関口興洋、藤田傳、山田武史、内藤正美、丹下洽、榊俊一、丹下香代子、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、池田智彦、赤瀬榮吉、縄田正芳、縄手修、歳弘逸郎、町元里香、清家幸三

支部友：堀江俊明、加藤信子、村上正治、松田幸恵、三宅明子

ゲスト：大石そなえ

12月11日(日)
支部「忘年の集い」記念登山
北九460 堀江俊明



撮影：小文字山山頂で

12月11日、足立山から小文字山までの記念登山が行われました。

私にとっては久しぶりの登山でした。妙見神社の駐車場までは、妻に車で送ってもらいました。

妻は、今年股関節の手術をしたので、しばらくは登山を控えており、今回は私一人で参加しました。

年齢を重ねてくると体のメンテナンスがいろいろと必要になってくるものです。

午前10時ごろのスタートし、和気清麻呂像の横を通過して妙見上宮でお参りし、足立山でお昼の休憩をとりました。私はあまり、お腹が空いていなかったため、おにぎりを少し食べただけでした。

その後、何回かアップダウンを繰り返して、小文字山に到達しました。その日は、本当に天気がよく、空気が澄んでいて、下関や戸畑・若松までくっきりと見渡すことができました。

予定より、少々、遅れて小文字山を下山し始めてしばらくして、膝に力が入りにくくなり何回か道から滑り落ちてしまいご迷惑をお掛け致しました。もう少し下半身の耐久力をつけないといけないと感じさせてくれた登山でした。

参加者：16人

会員：園川陽造、原広美、伊藤久次郎、井上禮子、馬場基介、関口興洋、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、赤瀬榮吉、縄手修、町元里香、清家幸三

支部友：堀江俊明、加藤信子、村上正治

12月3日～4日 本部年次晩餐会に参加して 13541 高島 拓生

竹本事務局長と私は、北九州空港より出発。
機内より富士山を眺め、好天に恵まれる。

羽田で日向副支部長と合流新宿へ。晩餐会会場
北九州支部が6人揃いました。

①本山岳会創立110周年、関西支部創立80周年記
念事業・日本山岳会関西支部東ネパール登山隊2016
の登山報告。隊長の重廣恒夫氏の報告説明、若き隊
員3人からも体験談を聞き、今後の抱負も発表され
た。

②第18回秩父宮記念山岳賞の鈴木正宗氏の講演に
は、皇太子殿下もご臨席拝聴されました。

地元英彦山のスライドも見て修験霊山を再認識い
たしました。

③晩餐会では、皇太子殿下ご臨席を大きな拍手で
出迎え富士山の指定席に。北九州支部6人と熊本支
部4人は白根山の席に着席、出迎え準備で待つ間、
テーブルマスターの関口支部長より自己紹介。

私は、「嘉麻アルプス」が2010年から日本山岳遺
産認定地に推薦されたなかで、2016年度20番目の認
定地として福岡県嘉麻市の馬見山、塀山、古処山山

域が決定された喜びを皆様に紹介させていただきました。

④記念山行記録

JR新宿駅西口工学院大学ビル前8:05出発。中央
高速道路足柄SAでトイレ休憩。午前9時15分乙女峠
登山口9:57～乙女峠10:45～丸岳(11:35～12:0
8)昼食～富士見台12:30～長尾峠広場にて記念撮影
(12:58～13:15)～富士見ヶ丘駐車場14:15下山

高速道路事故のため交通渋滞でJR新宿西口18:40
到着。羽田空港20:48発で帰路となりました。

出席者：6人 会員：関口興洋、日向祥剛、
高島拓生、武永計介、竹本正幸、縄田正芳



写真：富士山を背景に山行参加者で

12月3日(土) 全国支部長会議報告 支部長 関口 興洋

日時：2016年12月3日(土) 10:30～12:30

場所：東京、京王プラザホテル42F「高尾」

出席者：(本部)会長以下常務理事会メンバー全員
(支部)支部長33人

議事：

1、会長挨拶：今年は大きな節目が2つあった。

○マナスル登頂60周年と「山の日」施行(8月
11日)

○課題：現状のままでは財政が破綻するので、
中長期の財務の改善が喫緊の課題である。
また公益法人としての活動が求められている。

2、吉川副会長：

支部友、会友制度を導入している支部では、
これらの制度と今年10月以降導入した準会員
制度との接点を探ることが必要。本部としては
支部友会友制度を否定するものではないことを
申し上げる。特に資格制限はない。

3、準会員制度に対する各支部の現状と対応

昨年10月に導入されたばかりで各支部の取り
組みは、まだ始まったばかりであるが岩手支部

や熊本支部ではすでに入会者があった旨の報告
が行われた。

全体の動向はおおまかに括ると次のとおり。

(1)通常会員の入会促進を第一目標とし、入会金や
会費が入会を拒む原因となった場合、準会員への
加入を働きかける。

(2)支部友・会友制度がある支部では準会員を受け
入れるに当たっては、支部規約の改正が必要であ
る。支部友制度の見直し(在籍期間の限定)を検討
し準会員への移行を促す。

(3)準会員制度は、会員を獲得する一手段であるの
で、準会員獲得だけに目が向き、本来の会員獲得
の意欲がそがれることがあってはならない。

(*) 本会から退会した元会員が準会員として復帰
できるか、確認したが、それはできない。
その場合は通常会員に戻ることにすると。

(4)その他

○富士山遭難事故報告(広島支部)

○2017年の全国支部懇談会の案内

(主管：茨城支部)

日程：2017年10月13日(金)～14日(土)

場所：筑波山グランドホテル

以上

**10月8日(土)~10日(月)
広島支部との交流会に参加して
15806 清家幸三**



写真：山小屋前で両支部
交流会参加者全員

今年は、山小屋(斎山荘)で2泊する交流会でした。中国山地の一角で少し行けば島根県で芸北と呼ばれる所に宿泊する斎山荘がありました。10月8日の16時過ぎに北九州支部14人が広島支部の14人に迎えられました。これだけの人数が入れるのかと思ったが、大自然の中にあるこの山荘はむしろ贅沢なゆとりをもって私たちを迎え入れてくれました。

裏山も所有地で周りには小川が流れている。そして魚も見え池があり鯉も泳いでいる。小屋の近くでのツキノフグマの写真も飾っている。この中で午後6時より食事会、懇親会が兼森広島支部長、関口北九州支部長のあいさつではじまりました。鍋を囲み裏山で採った山盛りのなめこを食しながら、広島銘酒と九州の焼酎を飲みながらひと時を楽しみました。この中で斎さんにクマと出くわしたらどうしたら良いかを教えてもらいました。「クマさん! クマさん!と親しみをもって目を見ながら静かにはなれていくこと」。

次の9日は高岳(1045m) 経由の奥匹見狭縦走コー

ス(所要時間5時間30分)と高岳往復コース(所要時間2時間30分)に分かれ、私は前者に参加しました。

このコースの参加者は15人。聖湖の登山口を午前8時30分にスタート。9時38分に山頂着。その後は広島支部の切り開いた新道を当時のお話を聞きながら進んだ。大変な新道の開拓にその苦労に想いをはせながらの山歩きでした。また、周りはクマザサが群生しており、昨夜のクマさんのお話を思い出し、あたりを見回し、出合いを期待しながらの新道を歩きました。

想像していたより歩きやすい道で、中央には島根県との県境があり、二つの県を行ったり来たりを楽しみました。途中、百本松のところで昼食を取り、その後は急坂を下り奥匹見狭の駐車場に午後2時に到着。計画通りの時間でした。

下りて近くの美都温泉につかり、疲れを癒して山小屋へ向かいました。2日目の懇親会が続き、昨夜同様に大いに語り飲みました。側では斎さんのスキーのお話があり、聞き惚れていました。ただ私は酒も楽しみました。時を忘れてこの大自然を満喫した交流会でした。

広島支部の皆様、2日間ありがとうございました。最後にこの会で私達に素晴らしいコースと楽しい思い出を残してくれました渡辺さんに心より哀悼の意をお届けします。どうか安らかに、そして私達、山行する者たちを見守ってください。

合掌

参加者：14人

会員：関口興洋、日向祥剛、内藤正美、馬場基介、中村昭彦、縄手修、榊俊一、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、森本信子、大谷恵美子、清家幸三、小林英世

**11月3日(木)~4日(金)
第32回 宮崎ウェストン祭「晩秋の三秀台に集う」
14852 竹本正幸**



写真：祖母山山頂で

ウェストン祭は、高千穂町・日本山岳会宮崎支部の主催、高千穂町観光協会、田原地区村おこし推進協議会の後援により高千穂町五ヶ所高原「三秀台」で毎年行われています。

ウォルター・ウェストンは、明治23年11月6日、30歳の時に祖母山の山頂に登っていることが判り、昭和60年よりウェストン祭が開催されている。五ヶ所高原は、風光明媚な「九州の軽井沢」と呼ばれ、祖母山から山里に下りてくる晩秋の風で身も引き締まる。

祭事は、田原小学校生の点鐘により午後4時から始まり、ウェストン師をしのび山岳遭難者を悼みつつ登山の安全を祈る1分間の黙祷が行われる。

ウェストン碑献花、来賓のあいさつと続き、詩朗読、児童作文朗読、ウェストン祭の歌合唱、万歳三唱で午後4時30分に終了した。

午後6時から五ヶ所野菜集出荷場で神事、神楽、田原地区女性部の踊り、本陣太鼓鳴瀧会など村人による催し物が行われる。竹の筒に入った焼酎を火の中で温めたカッポ酒は、青竹の樹液でブレンドされ甘く柔らかい味であった。我々はカッポ酒のそばを離れず、地鶏や焼き椎茸に舌鼓を打つ。

大きなキャンプファイヤーに新婚カップルが点火すると会場は一気に盛り上がり、時間の経過を忘れてしまうほど楽しく地元の方々と交流できた。

午後8時から、公民館に帰り日本山岳会九州5支部の交流会を行い、午後10時ごろの就寝となる。

4日、所用のため関口支部長は公民館に残り、北九州支部は11人で北谷登山口より千間平、国観峠を

通り祖母山に登る。東九州支部は黒岳に、熊本支部は北谷コースから風穴を通り祖母山へ、宮崎支部は我々と同じコースでした。

山頂は、素晴らしい天候で根子岳・高岳、九重連山、傾山、古祖母山、昨年登った親父岳、障子岳と360度の展望でした。同じコースを下山して午後3時登山口に到着、解散する。

●コースタイム(4日記念山行)

五ヶ所公民館(7:10)→登山口(7:30)→国観峠(10:05)→祖母山頂(11:15~12:00)→登山口(14:45)

参加者：12人

会員：関口興洋、原広美、井上禮子、高島拓生、榊俊一、竹本正幸、竹本加代子、森本信子、縄田正芳、縄手修、歳弘逸郎、大谷恵美子

月例山行 10月15日~16日
九重・黒岳(1587[㍊])
雨で黒岳は登れず残念!
北九479 網塚 陽子

天気：晴れのち雨

10月15日(土)牧ノ戸峠駐車場に午前11時集合。

前方に見える黒岩山に登るが、簡単な説明を受けて出発。紅葉はまだ早く、足元には這うように「りんどう」の青い花が咲いていた。約40分で山頂に着き昼食をとった。その後は内藤さんより、負荷がかかる時の歩き方の説明を聞きながら、実際に体験をして勉強になった。

下山後は、沢水キャンプ場へ移動し、テントに戻り、夕食の準備に入り午後4時半過ぎに早めにバーベキューがはじまった。ご飯を飯ごうで炊いたり、野菜を切ったり何年ぶりのキャンプは準備段階から楽しかった。炭火を囲み気温が下がってきても、焼きあがった肉や野菜の味は格別に美味しかった。

夕食後は一つのテントに参加者が集まり、交流会となり、山の情報や支部のこれからなど熱い意見が交わされた。そして内藤さんが「山のうた」を唄い、初めて聞いた3部まである歌詞の美しさがとても新鮮だった。

翌16日は早朝より小雨。テントを撤去する時にシートたたみ方やパイプの折りたたみ方を実際に体験、限られた時間内で行う大変さを感じた。

朝食後、風が強くなり、黒岳登山は残念ながら中止となった。牧ノ戸峠に戻り、下山途中に「小松地獄」の遊歩道を散歩することに変更。温泉卵を作り想定外だったが良い思い出になった。

最後に今回の山行でご準備いただいたリーダーの内藤さんをはじめ、参加者の皆様にはお世話になりました。ありがとうございました。

参加者：13人

会員：内藤正美、大内喜代子、吉田克己、竹本正幸、竹本加代子、縄田正芳、大谷恵美子、塚本久嘉、三浦利夫、支部友：加藤信子、藤原玲子、網塚陽子、ビジター：稲富榮

月例山行 11月20日(日)
津波戸山(529[㍊])
14689 大内 喜代子

今回で4回目となる津波戸山です。何か新しい発見があればと思い参加しました。過去の山歩きでは3月下旬で、山頂を踏んだ後、西尾根を下りました。途中の険しい岩場で春ランと思われる一株を見つけました。この株が気になり、翌年は4月上旬同じ岩尾根を下り、同じ岩場に春ラン一輪発見しました。やっぱり春ランだったと感激したことが思い出され



写真：津波戸山山頂で

ます。今回は秋でしたので紅葉を楽しみながらの山行でした。

以前の山歩きとは真逆コースで、西尾根を登りました。88カ所霊場の山であり、初めのうちは石仏を見つけては、何番だよと数字を確認しながら歩く余裕がありましたが、尾根終盤は鎖場とロープが続きます。前回歩いた時はそんなに難しいと思わなかった鎖場附近は通過に時間を要するほどの難関で、山頂へ向かう谷に合流した時は緊張から開放されて皆ほっと一息。その場所は足元悪く、大岩を巻くように左へ移動し、山頂へ向かう。

その時1人下って来る男性がいたので、道を譲ったあと最後尾の人を確認すると、まさかのアクシデント。一番後ろを歩いていた男性が見当たらず彼の名前を大声で呼ぶと「待ってー」と言う返事あり。

皆一緒に立ち止まり、汗を拭きながら彼を待つ事に。しかし、待てども彼との合流ならず。

後でその理由が分かりました。私達は大岩を巻いた頃、ひとり下って行った男性がいました。わがチー

ムの男性はちょうど谷に合流した時、その男性の後ろ姿を見て下って行った様です。私達は山頂で昼食と記念撮影後予定通り東尾根へと戻ります。

山頂を踏めなかった男性とは途中携帯で連絡がとれていたのでも88番の石仏の前で合流、全員一緒に下山しました。

若干反省点はありますが、今回の津波戸山の山行も思い出深いものになりました。山頂を踏まなかった男性と近い内にこの奇岩、怪岩が林立する石仏巡りをすることになりそうです。

参加者：15人

会員：太田満、内藤正美、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、森本信子、縄田正芳、歳弘逸郎、町元里香

支部友：藤原玲子、原容子、中畑智子、山口得知代、藤井恒介

ビジター：原田その子

11月27日(日) 第3回山岳専科 15806 清家幸三



写真：山頂ビジターセンターにて

当日はあいにくの雨が降り続けていましたので、血倉山ケーブル下の駐車場から4台の車に乗り合いして山頂近くのビジネスセンターへ向かいました。

そのために早めに到着して30分ほど、近くの東屋で雨をしのぎながら雑談をして午前10時の開館まで過ごしました。

午前10時30分から「今日の雨は本日のテーマにぴったり合う」との園川講師のお話でスタートしました。この教室はテキストに沿って進める講義ではないので、聞き漏らさないように集中力が要求されます。

山登りに必要な精神力も養成されていると私なり

に解釈をしています。ただ、高度な技術面の分野に入ると聞き逃したりすることもあります。

今回の山岳専科では現実に起きた具体例をあげての気象と遭難の関係を学びました。

今まで参加しました山行でそれぞれのリーダーがその日の気象を判断して取りやめたり、前日に変更したり、入山前に待っていたりしたことを思い出しました。今回、気象を学び、その重要性を深く再認識することができました。そしてより正確な判断力を身につけていかなければならないことを学びました。充実した山岳専科を予定通り午後2時30分に終了して下山しました。

園川講師がテキストは後で目を通しておくように言われ、後日実行してわかったことは(もちろんわからない箇所も残りますが)今回のテーマの・気象・が身に就くために必要なことでした。

復習することの大事さを教えていることもこの教室の特色の一つではないかと思いました。

参加者：12人 講師：園川陽造

会員：竹本正幸、竹本加代子、赤瀬榮吉、森本信子、縄手修、奥田スマ子、三浦利夫、清家幸三

支部友：加藤信子、村上正治、廣木秀利、三宅明子

ポレポレ山行 10月13日(木)
扇ヶ鼻(1698[㍊])～岩井川岳(1522[㍊])
紅葉を觀賞!!
15710 町元 里香

牧ノ戸峠登山口から出発。登山口付近では紅葉している木々はほとんど見られなかったが、少しずつ高度を上げていくにつれ、所々に黄色やオレンジ、赤色の木々が増えていき、みんなの顔がほころびはじめる。空気も涼しく澄み切っていて、展望所からは北に英彦山、北東に由布岳、南東に祖母山と傾山、南には中岳からうっすらと白い噴煙をあげる阿蘇山、そして西の彼方には普賢岳まで360度のパノラマが広がる。沓掛山でまわりの景色を独り占めにし、さらに進むと三俣山が正面に見えてくる。

扇ヶ鼻のドウダンツツジの紅葉の赤とミヤマキリ

シマの緑のコントラストが素晴らしい。星生山の南西の斜面も所々で赤黄緑に紅葉している。扇ヶ鼻の頂上で美味しい空気をオカズに、おにぎりを食べて下山。

下りは長く長く感じたが何とか無事に瀬の本登山口に到着。帰りに楨有恒氏のギャラリーがある九重観光ホテルに立ち寄った。「山を尊び 山を愛し 山と共に生く」と直筆で書かれた色紙を眺めながら、今日1日を振り返る。自然の尊さ、友人、すべてに感謝の気持ちでいっぱいになった。

●行程：牧ノ戸峠10：00～12：20扇ヶ鼻(昼食30分)～13：30岩井川岳～15：20瀬の本登山口

参加者：7人

会員：CL丹下洽、SL丹下香代子、関口興洋、原広美、奥田スマ子、町元里香

支部友：藤原玲子

ポレポレ山行 11月17日(木)
蔵持山(472[㍊])
晩秋の修験道を歩く
15616 奥田 スマ子

今日は穏やかな小春日和。午前9時にみやこ町犀川地区にある「道の駅四季犀館」に集合。買い物を済ませ4台の車に分乗して、ナビを「高座橋」に設定して出発しました。登山口のある高座橋は、以前訪れた時には無かった新しい道路が出来てすっかり様変わりしていました。登山口の標識を確認して少し先の道路の空き地に駐車。自己紹介をして登山口をスタートしました。

朽ちかけた木橋を恐る恐る渡り、鎧越の分岐を過ぎるとすぐにきつい登りになってきました。「最初から鍛えられるねえ!」の声や後方からは「先頭一、ペース落としてー!!」の叫び声も。この蔵持山は標高が低いけれども英彦山、福智山、求菩提山、松尾山、桧原山と共に「英彦山六峰」の一つに数えられる霊山だそうです。かつて山伏たちが駆け登ったであろう行者道を、私たちは「坊跡」などを観ながらゆっくり歩きました。

蔵持神社中宮では建造物と共に境内の杉やイチョウの巨樹、ワイルドに造られた石段など修験の山らしい雰囲気があります。リーダーの丹下会員から「49窟のうち英彦山以外に2つある。ひとつが宝珠山(岩屋)、もうひとつがこの蔵持山にある。」

と興味深い話しをお聞きしました。その窟らしいものはこの時は発見できませんでしたが、あとで参考資料を見ると平成3年の台風で屏風岩にあった窟は崩れ落ちたとのこと、再訪の楽しみがひとつ減り残念に思います。

山頂付近まで急な登りでしたが「今日は調子がいい。鼻歌が出そう。」という方、反面1年ぶりに山に来たという方、脚の故障を抱えて登る方も、全員が登りきりました。上宮は樹林のなか、ここから少し行ったところにある突き出た屏風岩(稚児落とし)、三角点の置かれた山頂とも見事な展望が広がっていました。

久し振りに歩いた豊前の修験道でしたが昔の人々が自然を崇め、自然と共に暮らした様子をその遺跡などから感じる事が出来ました。一方で蔵持山の山腹に林道が通っている光景に違和感を覚えました。林道造成によって貴重な遺跡や自然が消失したのではないだろうか?経済優先の政策を憂うことが多い昨今です。

参加者：14人

会員：CL丹下洽、SL丹下香代子、伊藤久次郎、原広美、池田智彦、奥田スマ子、町元里香、

支部友：伊藤トモエ、藤原玲子、松田幸恵、立石シマ子、中畑智子、山口得知代

ピジター：辻直美

**11月10日(木)
博多サロンに元JAC会員も参加
14523 榊 俊一**



写真：参加者の皆さん

11月10日(木)午後6時30分ごろ博多駅筑紫口の居酒屋に総勢10人もの高齢者グループが集まり懇親会をはじめました。今回は伊藤前支部長が博多サロンの人数が少なく寂しいので退会したJACのメンバーに声をかけて集まってもらいました。

この元JAC会員は、西村一利氏、小林富雄氏、中岡邦男氏、大石そなえさん、宮城尚志氏の5人です。この5人と伊藤氏(前支部長)、山田氏(前事務局長)、赤瀬氏、三浦氏、榊の5人で総勢10人の久しぶりの大人数となりました。

10人の現在の状況を少しばかり飲みながら聞き出しましたので現状報告をします。

(飲みながら話を聞いたので内容は半分程度です)

●伊藤 久次郎氏(13499前支部長)

今年4月まで支部長を務めあげたが3月にガンマGTPが上がり肝臓に腫瘍が発見され1ヶ月程度入院した。手術を受け現在もりハビリ中です。山行は散歩程度で、今後ポレポレ程度から始めようと思っています。(酒は相変わらず飲まれているようですが少し控えめに)

●山田 武史氏(13992前事務局長)

脳梗塞を患って10日間入院し、現在正常に戻りつつあります。支部の山行には行かなく、個人的にリハビリを兼ねて小さい山に行っています。階段の登りが少しきつくなっている状況で体力の回復を目指しています。酒だけは飲めるので博多サロンは楽しみにしています。(高血圧とか、酒の飲みすぎに注意)

●赤瀬 榮吉氏(14916山行委員、古賀市山岳協会会長)

現在72歳で古賀市山岳協会の会長をしています。体調は良く、JACの山行と古賀市山岳協会の山行と個人山行と忙しいですが、いろいろな山行に行っています。今年は南アルプス縦走に行ってきました。

(体力的には50才代くらい強い人ですが、酒には少し弱いのが欠点)

●三浦 利夫氏(15624山行委員)

2年前にJACに入り山行に参加させてもらっています。園川教室の山岳専科で頑張っています。

今までの経験は3~4年前位から登山を始めたいばかりです。今後、いろいろな山に頑張っていきたいと思っています。(年齢も若く健康優良児であり山行も早いペースで登られる。酒も強く二次会、三次会のメンバー)

●元JAC西村 一利氏

12~13年前大腸がんを手術したが現在は復活して薬も飲んでなく血圧も正常で晩酌も普通に行っています。現在高い山はほとんど行ってなく近場の低い山に行っています。以前、宝満山に3750回登り現在は、立花山に約2000回位登っています。(元気で現在も立花山に行く与会えるそうです。酒も強い)

●元JAC小林 富雄氏

体調をくずして山に行かれなくなってJACを退会しました。現在は温泉や旅行が楽しみで行っています。孫の世話がたのしくて、運動会や学芸会等の行事には全部参加するようにしています。

今回日本全国の新幹線をすべて乗車する観光旅行に行ってきました。山(登山の山に博多の山[山笠])以外はほちほちですが頑張っています。

(元気なので安心しました。酒は控えめですが山行もできるのではと思うほどでした)

●元JAC中岡 邦男氏

現在野菜や果物を栽培し畑仕事で頑張っています。出来上がった野菜等を近所に配り、お返しに魚等をもって生活をしています。弓道の練習しすぎで膝を痛め山は軽い登山のみにしています。

(膝以外は健康で酒も飲んで昔とほとんど変化なし)

●元JAC大石 そなえさん

現在八女でオルレのコースガイドと子供の青少年チャレンジウオークの指導を行っています。

山行も頑張っていっています。(久しぶりの再会と八女弁を聞き楽しくなりました。昔の山行の話に盛りあがりました。10年前と変わらぬ若々しさでした。)

●元JAC宮城 尚志氏

現在両親がガンの治療中でなかなか山に行かれない状況ですが暇を見つけてはクライミングを主として頑張っております。龍岩フリークライミングというところで練習をしています。

最近夏休みがとれたので甲斐駒、仙丈と鳳凰三山に行ってきました。

(相変わらず元気で山行も高度なクライミングにはまって今後も山行に頑張るとのことうらやましい)

●榊俊一(14523山行副委員長)

現在は血圧の薬を飲んでます。膝の手術をしてリハビリ後何とか山行に頑張ってきました

今は腰が悪くなり(軽度の脊柱管狭窄症)コルセットをして登山しています。(酒はほどほどがいいのはわかっちゃいるけどやめられねえ)の10人で盛大に、病院の話に薬の話、年金の話と少しばかりの山の話と話題が広がり楽しいひと時でした。

以上

◇◇月例山行等のご案内◇◇

支部会員、支部友会員による県外山行(北九州支部エリア外)は「登山計画書」を必ず事務局に提出しましょう。

2月の山行

●伯耆大山・冬山基礎訓練

※ 日程が変更となりました

目的: アイゼン・ピッケルワーク訓練、冬山テント泊の体験

- 1 とき 2月11日(土)~12日(日)1泊2日
- 2 場所 鳥取県伯耆大山
- 3 行程
11日: 早朝北九州出発 大山下山キャンプ場(テント設営)~元谷まで移動し、訓練
12日: 夏道より山頂往復
下山後~テント撤収~北九州
- 4 装備 冬山登山装備
- 5 申込み先 竹本正幸(TEL: 0930-28-9611)
- 6 締切り 1月31日(火)
- 7 その他 詳細は参加者が決まり次第、打ち合わせをします。

●スキー教室(大佐スキー場)

- 1 とき 2月24日(金)~26日(日)2泊3日
バス車中1泊、いこいの村ひろしま1泊
- 2 場所 広島県大佐スキー場
- 3 行程
24日: 23時小倉駅北口バス出発~車中泊
25日: 大佐スキー場着~講習会~宿泊
26日: 大佐スキー場~講習会~午後現地発~20時頃小倉駅着
- 4 参加費: 40,000円(バス代、宿泊料、リフト券、保険料、スキーレンタル一式)
- 5 申込み先 池田智彦(TEL093-331-6259)
- 6 締切り 2月3日(金)
- 7 その他 詳細は参加者にお知らせします

4月の山行

●福智山虎尾桜(日本桜百選)

1. とき 4月2日(日)
2. 集合場所 田川郡福智町上野登山口
公衆トイレ前
3. 集合時間 午前8時30分
4. 行程 (歩行時間: 4時間10分)
上野登山口~虎尾桜~八丁~福智山~
上野越え~鷹取山~白雲ライン~上野登山口
5. 装備 一般登山装備
6. 申込み先
太田 満(TEL: 0947-28-2839 日没後)
竹本 正幸(TEL: 0930-28-9611)
7. 締切り 3月26日

●英彦山清掃登山(予定)

1. とき 4月9日(日)
2. 集合場所 英彦山別所駐車場
3. 集合時間 午前9時(予定)

ホレホレ山行

山行申し込みは、丹下洽(携帯090-3732-8843)

- 2月23日(木)
観梅と採銅所周辺の史跡巡り
3月30日(木)
鳥屋山(干支の山)
4月27日(木)
押戸岩の丘・鍋ヶ丘

第18回支部通常総会
のお知らせ

とき 平成29年4月23日(日)
会場 未定

詳細については追ってお知らせします

日本山岳会 九州地区
5支部懇談会のお知らせ

とき 平成29年5月20日(土)~21日(月)
場所 下関市(海峡ビューホテル)

詳細については追ってお知らせします

会 務 報 告

●平成28年11月定例役員会議事録

日時：平成28年11月2日(水) 18:00~20:00

場所：当支部ルーム(毎日会館 1F)

出席者：関口興洋、日向祥剛、磯野文雄、
竹本正幸、内藤正美、丹下洽、武永計介、
大木康子、丹下香代子、大内喜代子、縄田正芳、
縄手修、馬場基介、池田智彦
欠席者：森 義雄

議題

(1) 会員の異動状況

- ・通常会員：73人 入会者：なし 退会者：なし
- ・支部友：44人 入会者：なし 退会者：なし
- ・会友：4人 計：121人

(2) 会費納付状況

- ・通常会員：未納者9人/73人
- ・支部友：未納者11人/44人

※日向祥剛副支部長よりルーム経費として25万円の寄付がありました。

(3) 山行・行事報告

- ・9月3日(土) 岩登り教室(13人)
- ・9月4日(日) 第2回指導員研修(10人)
- ・9月7日(水) スマホ講習会(10人)
- ・9月11日(日) 涌蓋山 鹿一斉駆除のため中止
- ・9月11日(日) 右田が岳(11人)
- ・9月11日(日) 平尾台
(立花山グリーンガイドの会)(4人)
- ・9月15日(木)~16日(金) 馬見山、三高山
(13人)
- ・9月24日(土)~25日(日)
支部合同会議(大阪) 関口、竹本
- ・10月8日(土)~10日(月) 広島支部との交流会(14人) 八幡湿地帯別荘にて(高岳、聖岳)
- ・10月15日(土)~16日(日) 沢水キャンプ場
テント泊(13人) 15日の黒岳登山中止
- ・10月21日(金) 毎日会館交歓会(関口、丹下)
- ・10月22日(土)~23日(日) 石鎚山(5人)
- ・10月27日(木) トイレ協議会
(九重分れ・トイレの現状調査)

(4) 山行・行事計画

- ・11月3日(木)~4日(金) 宮崎ウエストン
祭(12人)
- ・11月13日(日) 第3回指導員研修
- ・11月20日(日) 津波戸山
- ・11月27日(土) 第3回山岳専科

- ・12月3日~4日(日) 本部年次晩餐会
- ・12月11日(日) 忘年の集い
- ・1月15日(日) 第4回山岳専科
- ・1月21日(土)~22日(日)
冬山合宿(安蔵寺山)
- ・2月5日(日) 第4回指導員研修
- ・2月18日(土)~19日(日) 冬山訓練(大山)
- ・2月25日(土)~26日(日) スキー教室
ポレポレの会
- ・9月8日(木) 万年山(8人)
- ・10月20日(木) 扇ヶ鼻(8人)
- ・11月17日(木) 蔵持山

審議事項

- (1) 支部合同会議の報告
- (2) 準会員制度開始が10月よりスタートしたが、支部友制度は今までどおり残しておく。支部友に対しては、準会員加入の呼びかけを行う。
- (3) 北九州支部運営のための役員会の指針(案)について磯野副支部長より提案。
 - ・基本的には、支部会員・支部友にいずれかの委員会に所属していただき、広く提案や意見を求め、提案が反映された登山活動や諸活動を行う。
 - ・今後のスケジュール等説明。
- (4) 山のトイレ(英彦山)の清掃当番計画(日程)について(磯野)
 - ・来年度は水曜日を外してほしい
- (5) 山の日 記念福岡フェスタの結果報告(磯野) 別紙参照
- (6) 年次晩餐会の参加者
- (7) 支部忘年の集い：磯野進行係、司会は池田、オークションを行う。
足立山山行リーダーは縄手。下山時にマイクロバスが迎えに行く。
- (8) 九州5支部懇談会5月20日(土)~21日(日) 海峡ビューホテル(実行委員長：磯野)
磯野がスケジュール等を作り、実行委員会にかける。
6ヶ月前の11月20日に予約を入れる。
- (9) 平成29年度年間山行計画の作成(山行委員会)
11月中に委員会を開催する。
- (10) 広島支部の登山講座見学
⇨初級講座(第3土曜日)日程検討
- (11) 支部報発行
- (12) その他
※次回定例役員会は、1月11日(水)17:30~開催予定です。

以上

●平成28年12月臨時役員会議事録

日時：平成28年12月6日(火) 18:30～20:15

場所：当支部ルーム(毎日会館 1F)

出席者：関口興洋、日向祥剛、磯野文雄、丹下洽、竹本正幸、丹下香代子、大木康子、池田智彦、馬場基介、大内喜代子、縄手修
欠席者：内藤正美、武永計介、縄田正芳、森義雄

議題

(1) 会員の異動状況

- ・通常会員：73人(異動なし)、
- ・支部友：44人(異動なし)
- ・会友：4人 計：121人(異動なし)

(2) 山行・行事報告

- ・11月13日(日)指導員研修(11人)検定試験(学科・実技2名)
- ・11月20日(日)月例山行 津波戸山(15人)
- ・11月27日(日)第3回山岳専科(12人)
- ・12月3日～4日
年次晩餐会(6人)、記念山行(5人)

(3) 山行・行事計画

- ・1月15日(日)第4回山岳専科
- ・1月21日(土)～22日(日)冬山合宿(安蔵寺山)
- ・2月5日(日)第4回指導員研修
- ・2月18日(土)～19日(日)冬山訓練(大山)
- ・2月25日(土)～26日(日)スキー教室(芸北)

審議事項

- (1) 支部長会議の報告
- (2) 九州5支部懇談会のスケジュール及び担当者
を決定
実行委員会は、支部役員が担当する。
- (3) 忘年の集いの進行計画および記念山行
忘年の集い：32人 記念山行：18人
12月9日：忘年の集いの名札、ハッピー、国旗
等準備とルームの大掃除をする。
- (4) 北九州支部運営のための役員会の指針
次回ペンディング事項
- (5) 平成29年度支部総会について
4月23日(日)場所は1月中に決定。
- (6) 年間行事
 - ・英彦山清掃登山について 4月9日(日)
 - ・英彦山山開き 5月27日(土)～28日(日)
 - ・山の日家族登山 8月11日(祝)
 - ・広島支部との交流会 開催について広島支部
に確認(関口支部長)
 - ・槇有恒祭 10月29日(日)
 - ・熊本支部60周年記念行事

11月18日(土)～19日(日)

- ・広島支部20周年記念行事 11月
- ・全国支部懇談会 10月13日(木)～14日(金)(茨
城支部)

(7) 平成29年度山行計画：山行委員会を12月中
に開催。

1月16日まで本部に「支部事業計画」「支部
予算書」を提出。

(8) その他

- ・「新日本山岳誌」の印税本部より11/21付けで
福岡銀行に入金(金額50,900円)(縄田)

次回役員会：1月11日(水)

事務局 竹本正幸

以上

英彦山山頂バイオトイレ 掃除日の予定

彦山山頂トイレの支部割り当て清掃の予定日は
以下の通りです。

会員皆様のご参加協力をお願いいたします。

期日(平成29年2月～3月)

- ・2月15日(水)
- ・3月29日(水)

※参加できる方は、事前に事務局までお申し込み
ください。当日、英彦山別所駐車場に午前9時
集合し、山頂へ向かいます。

九州シカ広域一斉捕獲のお知らせ

春期一斉捕獲が行われます。

対象の区域があります、詳しくは九州森林管理
局までお尋ねください。

実施期間：3月19日(日)～26日(日)

問い合わせ先：九州森林管理局保全課

(TEL096-328-3542)

会員の異動

- ・支部友会員

12/28付

退会者：北九456 広瀬大地

サロンのお知らせ

小倉サロン

毎月第4週水曜日開催

場所：小倉北区魚町「コール天」
(TEL093-522-0565)

- ・1月25日(水)午後6時30分から
ポレポレ山行「葎持山」
(11月17日)ビデオ上映
- ・2月22日(水)午後6時30分から
- ・3月22日(水)午後6時30分から
- ・4月はありません

●申込み先：事務局(竹本正幸
携帯090-6739-9251)

博多サロン

とき：2月9日(木)
午後6時30分から

場所：丸海屋(マルイ)
博多駅築紫口店 ☎092-432-4455
福岡市博多区博多駅東1-1-31
(駅東サリテ化L2階)

会費：3,500円(食べ飲み放題)
申込み：赤瀬榮吉
(携帯090-7475-9748 or X-ll)

注) 場所を変更しました。
初めてのの方は、ご案内します。
JR博多駅築紫口ビジョン前
に18時20分までご集合下さい。

寄稿

磯野副支部長
「私の安全登山」
第3回掲載「登高能力」
(平成29年1月号)

第1回(体力度、山の難
易度)

第2回(登山に必要な総
エネルギー量、水分量)
を掲載いたしました。必
要な方はメールでお送りし
ますのでお問合せ下さい。

居酒屋「コール天」

- 小倉北区魚町1-2-23 桧山ビル2F
- TEL:093-522-0565
- JR鹿兒島本線 小倉駅南口から
中央銀天街方面に向かい徒歩5分

北九州支部は毎月(第4週水曜日)の
サロンでお世話になっています



歌声喫茶を楽しむ会

毎月10日

時間 19時~

会費 2,000円

スナック

飲物・お菓子・
果物等準備して
おります!

ぎんなん
銀杏

TEL.093-541-5516

童謡・懐メロ・寮歌・校歌・軍歌・ラジオ歌謡・山の歌

〒802-0004 北九州市小倉北区鍛冶町1-2-2(坪根ビル)